

# 愛知東邦大学 シラバス

開講年度(Year)	2024年度	開講期(Semester)	後期
授業科目名(Course name)	保育内容 (人間関係)		
担当者(Instructors)	渡邊 明宏	配当年次(Dividend year)	2
単位数(Credits)	2	必修・選択(Required / selection)	選択

<b>■ 授業の目的と概要 (Course purpose/outline)</b>			
乳幼児期は、身近な大人との信頼関係に支えられ、環境との相互作用を通して発達する中で、徐々に周囲の子どもや地域の人々へと人間関係が広がっていく時期である。子どもにとって、人との関わりを経験することを通して自我が芽生え、社会性が育まれる重要な時期である。本授業では、領域「人間関係」を理解することを通して保育者の役割を自覚するとともに、乳幼児期における人間関係の育ちと人と関わる力を養うための指導法や保育教材について学び、自らの実践に取り入れることを目的とする。			

<b>■ 授業形態・授業の方法 (Class form)</b>	
授業形態(Class form)	演習
授業の方法(Class method)	テキストを用いて、子どもの人間関係の育ちに関する基礎的な理論を再確認する。そして、修得した知識を活かして事例などを検討・考察する際には、ディスカッションやグループワークを実施する。また、保育の構想や立案、模擬実践（プレゼンテーション）を実施する。これらの事後には振り返りや相互評価を行う。

<b>■ 各回のテーマとその内容 (Each theme and its contents)</b>			
回数(Num)	テーマ(Theme)	内容(Contents)	メディア区分(Media)
第1回	保育内容「人間関係」の理解	幼稚園教育要領や保育所保育指針の領域「人間関係」のねらいと内容を理解する。	<input type="checkbox"/>
第2回	人間関係と小学校教育との関連	人間関係を育む遊びについて、小学校教育との関連を実技を通じて学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第3回	生活と遊びを通して育つ人とかかわる力(1)－3歳未満児	保育所保育指針における3歳未満児の領域「人間関係」に対する理解を深める。	<input type="checkbox"/>
第4回	生活と遊びを通して育つ人とかかわる力(2)－3歳以上児	幼稚園教育要領における領域「人間関係」に対する理解を深める。	<input type="checkbox"/>
第5回	3歳児の人間関係	3歳児における保育環境の構成や保育者の援助や遊びについて理解を深める。	<input type="checkbox"/>
第6回	4歳児の人間関係	4歳児における保育環境の構成や保育者の援助や遊びについて理解を深める。	<input type="checkbox"/>
第7回	5歳児の人間関係	5歳児における保育環境の構成や保育者の援助や遊びについて理解を深める。	<input type="checkbox"/>
第8回	学習内容の進捗確認（中間）	第1回から第7回までの内容を振り返るとともに、理解度を図るための進捗状況を行う。	<input type="checkbox"/>
第9回	発達を踏まえての人間関係と評価	教育課程や全体的な計画をふまえ、領域「人間関係」の観点から子どもに対する評価について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第10回	発達を踏まえた人間関係の指導案(1)－作成方法	領域「人間関係」の観点から週案作成について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第11回	発達を踏まえた人間関係の指導案(2)－日案の作成	領域「人間関係」の観点から日案について学ぶ。	<input type="checkbox"/>
第12回	模擬保育(1)－3歳未満児の指導案の発表・実践・評価	3歳未満児の指導案を作成し模擬保育を行い振り返りを行う。	<input type="checkbox"/>
第13回	模擬保育(2)－3歳以上児の指導案の発表・実践・評価	3歳以上児の指導案を作成し模擬保育を行い振り返りを行う。	<input type="checkbox"/>
第14回	人と関わる力を養う情報機器及び教材の活用	領域「人間関係」の観点から保育者が保育に取り入れる情報機器及び教材の活用について考える。	<input type="checkbox"/>
第15回	学習内容の進捗確認（期末）	第1回から第7回までの内容を振り返るとともに、理解度を図るための進捗状況を行う。	<input type="checkbox"/>

■授業時間外学習（予習・復習）の内容(Preparation/review details)

授業前にテキストの予習（2時間）をする。授業後は配布資料や学修内容に基づいてまとめを作成（2時間）する。

■課題とフィードバックの方法(Assignments/feedback)

授業内の提出物に対しては次回以降にまとめてフィードバックし、全体で共有する機会を設ける。

■授業の到達目標と評価基準(Course goals)

区分(Division)	DP区分(DP division)	内容(DP contents)
知識・技能	◆ 2019子ども発達DP1	子どもの人間関係の育ちや保育者の役割に関する知識をもち、説明することができる。
思考力・判断力・表現力	◇ 2019子ども発達DP2	子どもの豊かな人間関係の育ちのために、保育者としてふさわしい対応を考えたり、保育の内容を構想したりすることができる。
主体性	◇ 2019子ども発達DP3	子どもの豊かな人間関係の育ちのためにふさわしい保育内容を立案し、実践することができる。

■成績評価(Evaluation method)

筆記試験(Written exam)	実技試験(Practical exam)	レポート試験(Report exam)	授業内試験 (in-class exam)	その他(Other)
			50%	50%

授業内試験等(具体的内容)(Specific contents)

テーマのまとめり毎に提出物を課す。また、ディスカッションやグループワーク、プレゼンテーションにおいては積極性や事後の振り返りを評価する。

■テキスト(Textbooks)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	『新時代の保育双書 保育内容 人間関係 [第2版]』 (柘みらい)	9784860154455
2	「保育所保育指針」 (平成29年, 厚生労働省)	
3	「幼稚園教育要領」 (平成29年, 文部科学省)	
4	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」 (平成29年3月告示 内閣府・文部科学省・厚生労働省)	
5		

■参考図書(references books)

No. (No.)	テキスト名など(Text name)	ISBN(ISBN)
1	「保育所保育指針解説」 (平成30年, 厚生労働省)	
2	「幼稚園教育要領解説」 (平成30年, 文部科学省)	
3	「幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説」 (平成30年, 内閣府・文部科学省・厚生労働省)	
4		
5		